

令和6年12月定例会一般質問通告書

令和6年11月8日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 小椋 憲浩

【通告1番】 次の事項について質問します。 1/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1.「東伯中央地区広域 営農団地農道整備事 業」の全線再開発に ついて	鳥取県中部の倉吉市高城地区から西伯郡旧中山町までの大山山麓中腹を結んでいる通称「東伯中央地区広域営農団地農道」計画は、平成6年から始まり平成24年をもって事業終了とされている。本町はこの道路のお陰で生活、生命、そして様々な産業が恩恵を受けているところです。しかし当初の計画通りつながっておらずいわば未完成道路であります。 当初の計画と現在では、農産物集荷環境は中部広域から県広域集荷へとシフトし、生活環境や道路事情も変化してきているところですが、昨今の第1次産業の法人化による大型経営体化。輸送体制や雇用条件の整備と法令順守。そして防災に関する対応の高まりやSDGSの取り組みによる森林環境による中山間道理整備への重要性に対する必要性は益々高まっています。 災害や病気から命を守る道路として、新たな産業開発や観光面での人口流入効果などへの期待も考えた場合、広域農道の再開発についての必要性は高いと考えますが町長の考えをお伺いします。	町 長

【通告 1 番】 小椋憲浩 議員 2/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
2. 交通事情の整理について	本町の交通機関及びそれに関連する道路事情などは、過去の経緯や財政事情などにより現在に至っている事と考えられます。その中であって新政権による地方創生交付金の増額の期待感から、施策の提案型が求められると考えますが、交通の利便性向上の観点から考えた場合について町長の考えをお伺いします。 ① 公共交通車両の整備更新計画について ② 中山間地域道路における防雪柵設置について	町 長

令和6年12月定例会一般質問通告書

令和6年11月11日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 田中 肇

【通告2番】次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 住民サービスの向上について	市町村は国や都道府県と異なり、直接住民と関わる身近な機関、自治体である。 このため住民サービスの向上は、行政において最優先課題である。 この視点から、次の2点について町長と教育長に伺う。 (1) 届出や申請等で窓口に来られた町民の皆さんや仕事で来庁された事業者を迎えた時、職員に求める業務上必要なマナーは何か、それを実践するための研修と指導方法。 (2) 公共施設の予約システムの導入による対費用効果及び導入後の改善点と課題。	町 長 教育長

令和6年12月定例会一般質問通告書

令和6年11月11日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 澤田 豊秋

【通告3番】 次の事項について質問します。 1/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 会計年度任用職員制度の見直しについて	2017年5月に、地方公務員法及び地方自治法の一部改正法が成立し、臨時・非常勤職員が新たな一般職非常勤として、2020年4月から「会計年度任用職員制度」がスタートして、今年度で4年目となりました。 3年経過したらリセットして再スタートするという考え方は解消されましたが、県内の各自治体によってその運用にはばらつきがあり、町村会等でも検討されていると思いますが、我が国の状況も踏まえ見直しが必要だと考えます。 そこで再度、町長、教育長にお尋ねします。 (1)これまでどのような検討がなされたのか。 (2)職員定数条例に基づく正職員の現状と、会計年度任用職員の実態はどのようなになっているのか。 (3)恒常的な職務については、「任期の定めない常勤職員」の配置が基本であると思いますが、勤務実態、経験を考慮して正職員へ移行できるようにすべきではないか。 (4)会計年度任用職員の昇給は現在1号級となっているが、制度が出来た時の考え方を踏まえ4号にならないのか。 (5)同一労働同一賃金と言いながら、正規、非正規公務員の格差解消になっていない状況を考えると、不安定就労を常態化することは、結婚、子育てをはじめ将来の老後の生活等にも大きく影響してくるのではないか。 次項へつづく	町 長

【通告３番】 澤田豊秋 議員 2/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
	(6)このような状況を踏まえて、今後の琴浦町の労働環境の整備等を含めた町づくりをどのように考えておられるのか。	町 長

令和6年12月定例会一般質問通告書

令和6年11月14日

琴浦町議会議員 大平 高志 様

琴浦町議会議員 川本 善孝

【通告4番】次の事項について質問します。 1/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 訪問介護事業所への支援について	東京商工リサーチの10月7日公表によると、本年1月から10月の介護事業者の倒産件数が145件となり、これまでの年間最多143件(2022年)を上回り、2ヶ月を残し過去最多を記録したことが明らかとなった。特に、訪問介護が過去最多の72件と半数を占め、増加の要因になっている。このままでは「保険あって介護なし」と言われる状況になる。 そこで、次の2点について保険者である町の所見を伺う。 (1)町内の訪問介護事業所に対し、ガソリン代等なんらかの助成を行う考えはないか。 (2)長期的には、社会福祉協議会による訪問介護事業の再開を協議する考えはないか。	町 長

【通告４番】 川本善孝 議員 2/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
２．生ゴミ処理の家庭支援策について	C O P 29(国連気候変動枠組み条約第 29 回締約国会議)によると、本年の平均気温は観測史上最高、最も暑い年となるのは確実とのことであり、C O 2 の削減は待ったなしの状況である。 C O 2 の削減のためには、水分が 8 割といわれる生ゴミの焼却をいかに減らすかが重要になると考える。 そこで、次の点について所見を伺う。 (1)家庭でのコンポストや生ゴミ乾燥機等への助成を実施する考えはないか。	町 長

令和6年12月定例会一般質問通告書

令和6年11月15日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 谷田 順子

【通告5番】 次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 健康寿命延伸に向け、更なる取り組みを行う考えはないか	琴浦町の2024年10月末現在の人口は15,860人で、高齢化率は38.5%であるが、琴浦まちづくりビジョン - 第3次総合計画 - に示された人口予測では、2031年には人口は14,493人に減少し、高齢化率は40%になると推計されている。 また、15歳から64歳までの生産年齢人口についても減少する傾向が継続し、2021年時点では4人で3人の高齢者を支える構図であった人口は、2041年には、1人で1人の高齢者を支える肩車式に変化すると予測されている。 少子高齢化が進行する中、持続可能なまちづくりに向けた取り組みは種々行われているが、町民の健康寿命の延伸を図ることで、働き盛り世代の負担軽減につながると考えるが、今以上の取り組みを行わないか町長の考えを伺う。	町 長

令和6年12月定例会一般質問通告書

令和6年11月15日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 井木 裕

【通告6番】 次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 不使用となっている町所有建物の今後について	町長就任2年11ヵ月どのような事業に着手しておられるのか。 また、在任期間をどのような方向で町民ニーズに応えられるのか伺う。 町内で不使用となっている以西保育園、逢束保育園、古布庄保育園、小学校などの施設について、これまでの協議の過程と町長の今後の見通しを伺う。	町 長
2. カウベルホールについて	カウベルホールのサウンディング調査について進捗状況を伺う。 月例報告会で上がっていた、NPO 花本義雄文化振興会主催による11/3のイベントは実施されたのか。	町 長
3. 「琴浦会」西日本地区交流会について	「琴浦会」西日本地区交流会を欠席された理由を伺う。	町 長
4. まなびタウンのあり方について	現在工事が進められているまなびタウン地下駐車場について。 2年前故障した際、長い期間修理がされず放置されていた。 なぜ工事が始まるまで放置されていたのか伺う。	町 長

令和6年12月定例会一般質問通告書

令和6年11月15日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 手嶋 正巳

【通告7番】 次の事項について質問します。

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 自伐型林業について	自伐型林業は自ら経営管理、施業を行う小規模の林業の事で「小さな林業」と呼ばれている。 大規模な伐採ではなく長期間にわたって間伐を繰り返し、豊かな森づくりと良質な木材生産を目指す。 近年特に若い世代を中心に関心や参入意欲が高まっていると聞いている。 琴浦町でも農林業振興のため、林業従事者の確保がむつかしいなか、多様な担い手を掘り起こす必要があると考える。町長の考えを伺う。	町 長
2. コーポラスことうらの現状と今後について	コーポラスことうらの管理現状はどうなっているのか、また、毎年積立金として積んであるが、現在積立金はいくらなのか、さらに耐用年数を考える時、今後、コーポラスことうらをどのようにしていられるのか伺う。	町 長

令和 6 年 1 2 月定例会一般質問通告書

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 押本 昌幸

【通告 8 番】 次の事項について質問します。 1/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. ゼロ・カーボン宣言 と人工芝	本年 3 月 2 2 日の本会議において町長は「ことうら ゼロカーボンチャレンジ宣言」をおこなった。その① に「温室効果ガスの排出量の削減とエネルギーの利用 効率向上など、カーボンニュートラルの達成に向けた 取り組みを強力に進めます」とある。 そこで考えられることの 1 つに「プラスチックを中 心とする化学品分野でも CO₂削減の取り組みが求めら れている」ことだ。プラスチックの製造工程でまず CO ₂が発生（年間 3100 万トン）。さらに廃プラスチック のリサイクルのうち約 57%が「(焼却) 熱利用である サーマルリサイクル」で年間約 1600 万トンの CO₂が排 出されている。このような現実の中で、琴浦町では約 8000 m²の人工芝サッカー場が予定されている。もちろ んプラスチック製品である。したがって、先ずその製 造過程で CO₂が排出されている。 ①経年変化として、人工芝片・チップ等のプラスチッ ク片が発生するが、年間どのくらいの量になるのか。 またどう回収されるのか尋ねる。 ②それらは焼却処分しか方法がないとされるが、どの くらいの CO₂が発生するのか、尋ねる。 ③約 8000 m²の敷地は、アスファルト舗装の基礎が予 定され、その上にプラスチックの人工芝が張られる。 このことによって、天然芝に比べ 10℃以上の高熱が発 生し、それがこの気候沸騰化のなかで 2, 3 か月にも わたる長期間となる。さらに、それが夜間使用、夜間 照明による電力消費につながる「温室効果ガスの排 出」とは無縁と考えているのか尋ねたい。	町 長

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
2. 国道 9 号線沿線のクルマのディーラー（特約店・正規販売店）等の相次ぐ撤退をどうとらえる。	国道沿いの資本力のある店舗の撤退が相次いでいる。車のディーラー（特約店）ではダイハツ、トヨタ（2017）、スバル（2024）。また、紳士服のグッドヒル、パチンコ UF0（2024）、唯一の書店であった今井書店（2024）等の娯楽・文化・服飾業。また、製造業の福助（従業員 107 名＝2025）と相次いでいる。 他にも今年新たに更地になったところもある。町内で 20 年 30 年営業してきた店舗が多い。特に数店あった車のディーラー（特約店）の撤退は、町内の耐久消費財の相当額の消費力の衰退、疲弊が考えられる。民間企業の動向とはいえ、その主因は町民の経済力の低下と言えるのではないかと尋ねる。 これらをどう捉え、どう対処しようとしているのか尋ねる。	町 長
3. 令和 5 年度琴浦町「プライマリーバランス」の劣悪化	琴浦町の令和 5 年度決算において、財政収支（台所事情）について、「実質公債費比率（借金の返済額の大きさ）」は 12.3%、「将来負担比率（将来財政を圧迫する可能性の度合い）」は 50.4%、「経常収支比率（町の財源の余裕度を示す）」は 92.2%（以上はいずれも数字の低い方が健全）、「財政調整基金（貯金）」は 9.8 億円と、前年比で改善されたかのような数字であった。ところが「基礎的財政収支（プライマリーバランス＝行政サービスの経費と利息を、税金等で賄っているかどうかを示すもの）」は、それまで黒字 12 億円程度であったものが、僅か 2 億円と 10 億円も縮小している。この数字は過去 9 年間 10 億円前後で推移していたものが急に落ち込んだものである。歳入が 5 億円減り、歳出が 5 億円増えての 10 億円減である。標準財規模が 70 億円弱の琴浦町にあっての数字である。この要因と今後の見通しを尋ねる。 また、町の借金の返済である「元利償還金」は、例年 14～15 億円であり、その範囲内であれば借金残高＝「地方債」が増えることはない理屈だが、令和 6 年度には「まなびタウンのエアコン等の修繕費」数億円、「サッカー場改修費」数億円、「ふなのえこども園成美地区公民館新築」11 億円。それらの多くが地方債（過疎債）であるが、そのほかにも「東伯総合公園再整備」等まだまだ続く。いったい、財政健全化についてどう考えているのか、財政規律も含め、責任ある回答を求める。	町 長

令和 6 年 1 2 月定例会一般質問通告書

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 桑本 始

【通告 9 番】 次の事項について質問します。 1/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 「身寄りのない高齢者」の身元保証、無縁遺体指針整備等の多岐にわたるサービスについて	(1) R5. 9 月ひとり暮らし高齢者世帯(1, 287 世帯)、高齢者のみ世帯(984 世帯)が全世帯の 35%にあたる 2, 271 世帯。 R22. 9 月推計では、ひとり暮らし高齢者世帯(1, 541 世帯)、高齢者のみ世帯(1, 222 世帯)が全世帯の 45. 9%にあたる 2, 763 世帯。 この内 R5. 9 月ひとり暮らし高齢者世帯 19. 8%、R22. 9 月推計ひとり暮らし高齢者世帯 25. 6%。この現状と推計の中に、自治体も「身寄りのない高齢者」の対応に迫られているが、どう対応されるのか。 (2) 「身寄りのない高齢者」の老後の施設入居や入院時に求められる身元保証のほか無縁遺体(遺体の引き取り手がない)等の取り扱いに関する自治体マニュアルは整備されているのか。	町 長

【通告 9 番】 桑本 始議員 2/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
2. 犯罪被害者支援(児童・生徒)の教育支援について	児童・生徒が犯罪被害者等となってしまった場合の支援について、当該児童・生徒やその家族への支援はもとより、当該児童・生徒が通う学校との連携は大変重要である。従って、当該児童・生徒に関わる関係機関との協議を十分に重ね、個々の児童・生徒に即した必要な支援施策を検討することについて。 (例)川崎市役所 (令和元年 5 月同市で起きた川崎市通り魔事件) 教育支援の助成制度は「犯罪被害により子を通学させることが困難となった犯罪被害者等が教育サービスを利用した場合に、費用を助成できる。 額は 4 万 8 千円が上限。使い道は、家庭教師サービスを利用した場合に費用を助成できる。」(要綱)	町 長 教育長

令和6年12月定例会一般質問通告書

令和6年11月15日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 小椋 正和

【通告10番】 次の事項について質問します。 1/2

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 公共施設駐車場の区画線整備について	22年12月議会においてこの件に関して質問をしましたが、整備が進んでいない点を重視し、再度伺います。 (1) 公共施設駐車場の整備計画は出来ているのか伺う。 (2) 2年前の答弁によると、全体の状況を確認し、優先順位をつけて計画的に区画線整備を行っていくとあるが、出来ていると認識されているのか伺う。 (3) 来年度予算等において整備を促進されるのか伺う。	町 長
2. 町道センターライン整備について	町道の多くの路線において、センターラインが不明瞭となっている現実があります。交通安全対策の観点からも中央線の明確化は重要な要素と考えますので整備について伺います。 (1) センターラインなり交通安全対策整備計画はどの様になっているのか伺う。 (2) 見通しの良い道路、見通しのよくない蛇行している道路においても中央線の明確化は重要であり、まして蛇行したカーブにおいての中央線の果たす役割は大きいと考える。この様な町道が多くあるという事を踏まえて早急な対応はされないのか伺う。	町 長

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
3. 小・中学校の諸問題 対策について	文部科学省が 10 月 31 日に公表した昨年度の児童生徒の問題行動・不登校調査結果の新聞報道があった。 それによると、県内の暴力行為は過去最多とあり又不登校も過去最多との報道であった。これらを踏まえて町内の小学校、中学校の実態等を伺う。 (1)町内小学校、中学校の実態はどうか。以前からこの問題は重要な案件として対応されてきた経緯もあると思うが、町内では減少しているのかを伺う。 (2)減少していないとすれば、その原因としてはどのような問題があると認識しておられるのか伺う。 (3)各学校において、これら問題が多く起こりやすい環境とか、学校間に違いがあるという事はないのか伺う。 (4)児童、生徒の家庭環境も重要と考える、これまでの対応ではスクールソーシャルワーカーが児童相談所等と対処していくと聞いていますが、それ以外の対策も必要と考えるがその対策はあるかを伺う。 (5)児童生徒全員が楽しく、笑顔で通学できる環境はだれが作っていくのか、諸問題が減少する、無くなる対策は実現できるのかを伺う。	町 長 教育長